

津市監第614号
平成25年10月31日

津市長 前 葉 泰 幸 様

津市監査委員	渡 邊	昇
津市監査委員	駒 田	修 一
津市監査委員	安 藤	友 昭
津市監査委員	福 田	慶 一

平成24年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見について
(提出)

地方自治法(昭和22年法律第67号)第233条第2項の規定に基づき審査に付された下記の平成24年度財産区会計歳入歳出決算の審査意見について、別添のとおり提出します。

記

- 1 平成24年度榊原財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 2 平成24年度河内財産区会計歳入歳出決算の審査意見
- 3 平成24年度波瀬財産区会計歳入歳出決算の審査意見

平成 2 4 年 度

榑 原 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

凡 例

- 1 文中及び表中に用いる金額は、原則として千円未満を四捨五入した。
- 2 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。
- 3 文中及び表中に用いる面積は、原則として1平方メートル未満を四捨五入し、体積は、原則として1立方メートル未満を四捨五入した。
- 4 上記のように表記した結果、文中及び表中の合計数値とその内訳の累計値とは、一致しない場合がある。
- 5 表中の符号の用法は、次のとおりである。
 - 「0」「0.0」・・・金額、比率において、零又は該当数値がないもの若しくは単位未満のもの
 - 「－」・・・・・・比率において、±1,000%以上のもの
 - 「△」・・・・・・金額、比率において、負数のもの

平成 24 年度榊原財産区会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

審査の対象は、平成 24 年度榊原財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第 2 審査の期間

審査の期間は、平成 25 年 8 月 30 日から同年 10 月 30 日までである。

第 3 審査の方法

審査の方法は、同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第 4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は 2,454 万 7 千円（表 1 参照）、歳出決算額は 2,242 万 1 千円（表 2 参照）で、歳入歳出差引額は 212 万 6 千円である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、次のとおりである。

(1) 歳 入

歳入の内訳は表 1 のとおりで、決算額の主なものは、財産収入 2,251 万 8 千円、繰越金 202 万 2 千円である。

表 1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成24年度				平成23年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	22,352	22,518	91.7	100.7	21,231	72.7	1,287	6.1
繰入金	0	0	0.0	0.0	6,211	21.3	△ 6,211	△ 100.0
繰越金	2,022	2,022	8.2	100.0	1,634	5.6	388	23.7
諸収入	3	7	0.0	233.3	123	0.4	△ 116	△ 94.3
計	24,377	24,547	100.0	100.7	29,199	100.0	△ 4,652	△ 15.9

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額の主なものは、財産費 1,158 万 3 千円、諸支出金 717 万 8 千円である。

表 2 歳出内訳表 (単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成24年度				平成23年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議 会 費	1,918	1,770	7.9	92.3	1,625	6.0	145	8.9
総 務 費	1,130	771	3.4	68.2	1,162	4.3	△ 391	△ 33.6
財 産 費	12,609	11,583	51.7	91.9	17,312	63.7	△ 5,729	△ 33.1
積 立 金	1,120	1,119	5.0	99.9	35	0.1	1,084	-
諸 支 出 金	7,500	7,178	32.0	95.7	7,043	25.9	135	1.9
予 備 費	100	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	24,377	22,421	100.0	92.0	27,176	100.0	△ 4,755	△ 17.5

2 財産に関する調書

財産の平成 24 年度中の増減高及び平成 24 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の合計面積は、山林の直営で 3,061 平方メートル増加したものの、山林の貸付で 3,061 平方メートル減少したことから、平成 24 年度中の増減はなく、平成 24 年度末現在高は 1,226 万 4,128 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、平成 24 年度中に 334 立方メートル増加し、平成 24 年度末現在高は 3 万 2,010 立方メートルである。

出資による権利については、平成 24 年度中の増減はなく、平成 24 年度末現在高は 84 万円である。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	平成23年度末現在高	平成24年度中増減高	平成24年度末現在高	
土 地	公共用財産(その他の施設)	m ²	918	0	918	
	山 林	直 営	m ²	1,858,244	3,061	1,861,305
		貸 付	m ²	10,404,966	△ 3,061	10,401,905
	合 計		m ²	12,264,128	0	12,264,128
立木の推定蓄積量		m ³	31,676	334	32,010	
出資による権利		千円	840	0	840	

(2) 物 品

物品は軽貨物自動車で、表 4 のとおり平成 24 年度中に増減はなく、平成 24 年度末現在高は 2 台である。

表 4 物品の状況 (単位：台)

区 分	平成23年度末現在高	平成24年度中増減高	平成24年度末現在高
軽 貨 物 自 動 車	2	0	2

(3) 基 金

基金は榑原財産区財政調整基金で、表 5 のとおり平成 24 年度中に 111 万 9 千円増加し、平成 24 年度末現在高は 2,337 万 6 千円である。

表 5 基金の状況 (単位：千円)

区 分	平成23年度末現在高	平成24年度中増減高	平成24年度末現在高
榑 原 財 産 区 財 政 調 整 基 金	22,257	1,119	23,376

3 まとめ

平成 24 年度は、平成 23 年度から 202 万 2 千円が繰り越されたことから、財政調整基金からの繰入金が必要としなかったところである。引き続き、中長期的な視野に立った計画的な財政運営に取り組まれるよう望むものである。

平成 2 4 年 度

河 内 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

平成 24 年度河内財産区会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

審査の対象は、平成 24 年度河内財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第 2 審査の期間

審査の期間は、平成 25 年 8 月 30 日から同年 10 月 30 日までである。

第 3 審査の方法

審査の方法は、同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第 4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は 58 万 4 千円（表 1 参照）、歳出決算額は 38 万 8 千円（表 2 参照）で、歳入歳出差引額は 19 万 6 千円である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳 入

歳入の内訳は表 1 のとおりで、決算額の主なものは、繰入金 45 万円、繰越金 13 万 3 千円である。

表 1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成24年度				平成23年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	7	2	0.3	28.6	2	0.5	0	0.0
繰入金	610	450	77.1	73.8	270	62.5	180	66.7
繰越金	120	133	22.8	110.8	161	37.3	△ 28	△ 17.4
諸収入	10	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	747	584	100.0	78.2	432	100.0	152	35.2

(2) 歳出

歳出の内訳は表2のとおりで、決算額の主なものは、議会費18万3千円、財産費14万円である。

表2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成24年度				平成23年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議会費	195	183	47.2	93.8	197	65.7	△14	△7.1
総務費	323	62	16.0	19.2	15	5.0	47	313.3
財産費	197	140	36.1	71.1	86	28.7	54	62.8
基金積立金	7	2	0.5	28.6	2	0.7	0	0.0
予備費	25	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	747	388	100.0	51.9	300	100.0	88	29.3

2 財産に関する調書

財産の平成24年度中の増減高及び平成24年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表3のとおりで、土地と建物の面積に増減はなく、平成24年度末現在高は、土地が13万278平方メートル、建物が木造1棟63平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、平成24年度中に74立方メートル増加し、平成24年度末現在高は7,702立方メートルである。

表3 公有財産の状況

区分		単位	平成23年度末現在高	平成24年度中増減高	平成24年度末現在高
土地	山林	m ²	130,278	0	130,278
建物	旧津市河内公民館	m ²	63	0	63
立木の推定蓄積量		m ³	7,628	74	7,702

(2) 基金

基金は河内財産区財政調整基金で、表4のとおり平成24年度中に44万8千円減少し、平成24年度末現在高は578万5千円である。

表4 基金の状況

(単位:千円)

区分	平成23年度末現在高	平成24年度中増減高	平成24年度末現在高
河内財産区財政調整基金	6,233	△448	5,785

3 まとめ

平成 24 年度は、財政調整基金からの繰入金歳入全体の 77.1 パーセントを占めており、今後においても、歳入全体に占める繰入金の比率は高くなるものと考えられることから、より効率的な財政運営に取り組まれるよう望むものである。

平成 2 4 年 度

波 瀨 財 産 区 会 計
歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

津 市 監 査 委 員

平成 24 年度波瀬財産区会計歳入歳出決算審査意見

第 1 審査の対象

審査の対象は、平成 24 年度波瀬財産区会計歳入歳出決算、決算に関する証書類、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書である。

第 2 審査の期間

審査の期間は、平成 25 年 8 月 30 日から同年 10 月 30 日までである。

第 3 審査の方法

審査の方法は、同会計の歳入歳出決算について、主に次の諸点に着眼し、関係書類により照合審査するとともに、関係職員に説明を求め、例月現金出納検査の結果も参考とした。

- 1 決算の計数は、正確に表示されているか。
- 2 決算書等は、法令の定めるところにより、適正に作成されているか。
- 3 予算は、適正に執行されているか。

第 4 審査の結果

審査の結果、同会計の歳入歳出決算の計数は正確で、決算書等はいずれも適正に作成されており、予算の執行については、適正に執行されているものと認めた。歳入歳出決算の状況等は、次のとおりである。

1 歳入歳出決算の状況

歳入決算額は 72 万 8 千円 (表 1 参照)、歳出決算額は 48 万 9 千円 (表 2 参照) で、歳入歳出差引額は 23 万 9 千円である。

歳入及び歳出それぞれの内訳は、以下のとおりである。

(1) 歳 入

歳入の内訳は表 1 のとおりで、決算額の主なものは、繰越金 51 万 5 千円、財産収入 13 万 7 千円である。

表 1 歳入内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成24年度				平成23年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	予算比				
財産収入	136	137	18.8	100.7	29	2.1	108	372.4
繰入金	0	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
繰越金	515	515	70.7	100.0	1,219	86.5	△ 704	△ 57.8
諸収入	75	76	10.4	101.3	162	11.5	△ 86	△ 53.1
計	726	728	100.0	100.3	1,410	100.0	△ 682	△ 48.4

(2) 歳 出

歳出の内訳は表 2 のとおりで、決算額は、議会費 47 万 1 千円、総務費 1 万 8 千円である。

表 2 歳出内訳表

(単位:千円・%)

区分 予算科目(款)	平成24年度				平成23年度		対前年度決算	
	予算現額	決算額			決算額	構成比	増減額	増減率
		金額	構成比	執行率				
議 会 費	545	471	96.3	86.4	471	52.6	0	0.0
総 務 費	81	18	3.7	22.2	424	47.4	△ 406	△ 95.8
予 備 費	100	0	0.0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	726	489	100.0	67.4	895	100.0	△ 406	△ 45.4

2 財産に関する調書

財産の平成 24 年度中の増減高及び平成 24 年度末現在高は、次のとおりである。

(1) 公有財産

公有財産の状況は表 3 のとおりで、土地の合計面積は、山林の貸付で 18 平方メートル増加したものの、山林の直営で 18 平方メートル減少したことから、平成 24 年度中の増減はなく、平成 24 年度末現在高は 100 万 9,635 平方メートルである。

立木の推定蓄積量は、平成 24 年度中に 469 立方メートル増加し、平成 24 年度末現在高は 4 万 128 立方メートルである。

出資による権利については、平成 24 年度中の増減はなく、平成 24 年度末現在高は 57 万円である。

表 3 公有財産の状況

区 分		単位	平成23年度末現在高	平成24年度中増減高	平成24年度末現在高	
土 地	宅 地	m ²	1,208	0	1,208	
	雑 種 地 ・ 原 野	m ²	887	0	887	
	山 林	直 営	m ²	1,006,824	△ 18	1,006,806
		貸 付	m ²	716	18	733
合 計		m ²	1,009,635	0	1,009,635	
立木の推定蓄積量		m ³	39,659	469	40,128	
出資による権利		千円	570	0	570	

(2) 基金

基金は波瀬財産区財政調整基金で、表4のとおり平成24年度中に4千円増加し、平成24年度末現在高は1,494万8千円である。

表4 基金の状況

(単位：千円)

区 分	平成23年度末現在高	平成24年度中増減高	平成24年度末現在高
波瀬財産区財政調整基金	14,944	4	14,948

3 まとめ

平成24年度は、平成23年度から51万5千円が繰り越されたことから、財政調整基金からの繰入金が必要としなかったところである。しかしながら、今後においては、同基金からの繰入金を必要とする状況が考えられることから、より効率的な財政運営に取り組まれるよう望むものである。